学校番号	1101

令和２年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	パラレルノート数学Ｂ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で，自分の考えを発表したり，議論したりする活動を行います。
・ノート，教科書，問題集を用意してください。
・課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

平面上のベクトル，空間のベクトル，数列についての基礎的な知識や技能を修得します。また，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにします。さらにそれらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	平面上のベクトル，空間のベクトル，数列の考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらの事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることを通して、平面上のベクトル，空間のベクトル，数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面上のベクトル，空間のベクトル，数列において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面上のベクトル，空間のベクトル，数列における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト 単元テスト 記述の点検（ノート，ワークシート，問題集等） 観察等	単元テスト 定期テスト 記述の点検（ノート，ワークシート，問題集等） 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検（ノート，ワークシート，問題集等） 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	平面上のベクトル	ベクトルとその演算	○	○	○		a:日常生活との関連 b:記号や図で表現できる c:公式を用いて演算できる d:用語・記号・公式の利用	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検 観察等
		ベクトルの内積		○	○	○	a:内積の図形的な意味の考察 b:記号や図で表現できる c:公式を用いて値を求める d:用語・記号・公式の利用	
		ベクトルと平面図形	○		○	○	a:位置ベクトルと図形の興味 b:位置ベクトルの概念の理解 c:公式を用いて値を求める d:用語・記号・公式の利用	
	空間のベクトル	空間のベクトル		○	○		a:空間図形への興味 b:座標空間とベクトルの理解 c:公式を用いて値を求める d:用語・記号・公式の利用	
後期	数列	数列 等差数列とその和	○		○	○	a:数の並び方と規則への興味 b:隣接する項の関係の理解 c:公式を用いて値を求める d:用語・記号・公式の利用	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検 観察等
		等比数列とその和	○		○	○	a:数の並び方と規則への興味 b:隣接する項の関係の理解 c:公式を用いて値を求める d:用語・記号・公式の利用	
		和の記号Σ いろいろな数列の和		○	○	○	a:和の求め方への興味 b:数列の和をΣで表す c:公式を用いて値を求める d:用語・記号・公式の利用	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。